

研究だより

入新井第五小学校
研究推進委員会
R 6 年 9 月 27 日 (金)
第 4 号

社会に課題に適応プロジェクト

4 年 総合的な学習の時間「10 才のハローワーク～「仕事をする」ってどんなこと?～」

◎授業について

9 月 20 日 (金) に第 4 回となる校内での研究授業を行いました。4 年生の児童にとって仕事とは、当番活動などの学級の中で取り組む内容が多いです。来年度、5 年生になると委員会活動など学校全体に関わる仕事が増えます。そこで、働くことについて自分の考えを広げたり、深めたりするためにこの単元を設定しました。

総合的な学習の時間を計画する際には、他教科での学びを生かすことができる場面を意図的に設定しています。国語の時間に学習した「聞き取りメモの工夫」で獲得した技能を使い、インタビューのメモをとっていました。このように、一つの学びを多様な場面で生かすことができるという経験を児童が積むことで、課題に対し様々な解決方法があるという意識を醸成できると考えました。



授業では、養護教諭と学校薬剤師にインタビューを行いました。養護教諭については、健康診断に来てくださる学校医の先生方との日程調整などマネジメント的な仕事、学校薬剤師についてはプールの水質検査のみでなく、給食の細菌検査も行っていると児童のまだ知らない仕事があることに驚いていました。

インタビューでは、「やりがい」や「嬉しいこと」などの、働いている人の思いについて質問しました。その後グループで情報交換をし、さらに聞いてみたいことを考えました。「けがの手当てをするときは、どんな気持ちなのですか」「判断が難しいとおっしゃっていましたが、どんなことが詳しく聞かせてください。」など、疑問に思ったことを質問することができました。

☆指導・講評

○インタビューの技能を身に付けるにはよい流れであった。聞き取る、伝え合う、また聞きに行くことができていた。2 回目の質問で、学びを深めることができていた。

○教師の話は短く簡潔であった。イメージ化できるような話し方や具体物の提示があるととてもよい。

○専門的なことを話してもらい、「えー!」「へー!」を生みだしていた。知識の理解と感情の理解は違う。もっと探求したいという意欲につながった。

○児童は状況を見ながら行動できていた。実践的な適応力があつた。どの子も取り残さない授業展開であった。

▲最後の 3 分間の活動

児童に今日の学びを発表させる、ゲストティーチャーであった学校薬剤師のお話を伺うなど、余韻に浸る時間にするとより良い。

